

エンマコオロギ

特徴と生態

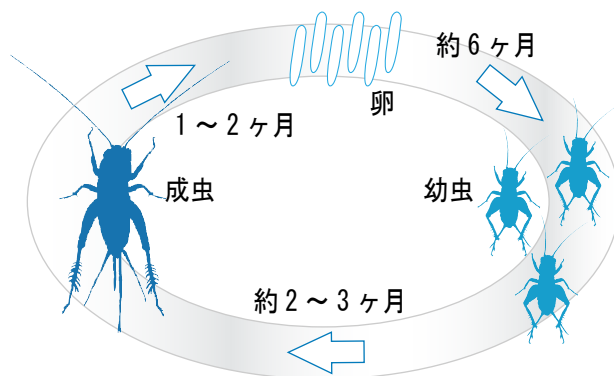


- 成虫体長…20 ～ 25 mm
体色…黒褐色
- 幼虫体色…黒褐色
- 卵体長…約 3 mm
体色…黄白色
- 頭は球形で白色の斑文があり、複眼の背後方でせばまりほとんど消失します。
本州以北では年 1 回の発生で、卵で越冬し、成虫は 8 ～ 11 月に現れます。雌には長い産卵管があり、長さは約 21 mm になります。
雄は翅をこすり「コロコロ・・・・・リー」と美しい音色で鳴きます。
本種は雑食性であり、草や小虫、ミミズなどの小動物を食べます。

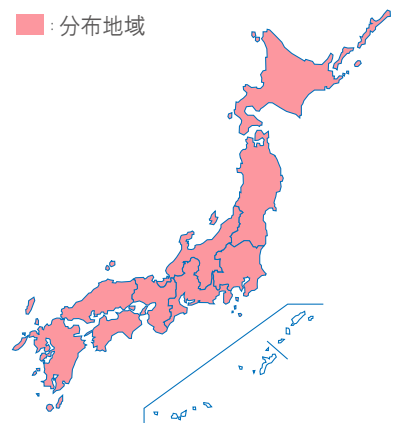
分布と発生場所

- 北海道・本州・四国・九州に分布します。エンマコオロギはかつては 1 種とされていましたが、現在は 3 種に分けられており、本州北部から北海道のものはエゾエンマコオロギ、本州以南の暖地ではタイワンエンマコオロギと分別されます。
成虫・幼虫ともに河原や草地・畑にすみ、卵は地中に産卵します。

● サイクル図



● 分布図



● 発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

■：多い ■：少ない □：ない

被害

- 家屋へ侵入し不快感を与えます。また、雑食性で野菜も食べることから、畑地の害虫になることもあります。

駆除

- 家屋への侵入を防ぐため、建物の周囲にコオロギの棲みかとなるような草を生やさないように環境を整備することが大切です。庭でコオロギを見かける場合には、建物の周囲に不快害虫用の粒剤を帯状に散布することで侵入を防ぐことが出来ます。